

「今月の1枚」



トゲナナフシ（ナナフシ目ナナフシ科）*Neohirasea japonica*

どこにいる？ 枝に擬態

昆虫が敵からのがれるために、色や形、動きなどを周囲の環境に合わせてカモフラージュして見分けをつけにくくすることを「擬態」といいます。ナナフシの仲間は擬態の例として有名で、写真のように色や形がまるで植物の枝のようで、一目でどこにいるかわかりにくくなっています。枯れ枝にじっと動かずに止まっていると、確かに見つけるのは難しいです。右の拡大した写真では、右側が頭部で、まっすぐ伸びた触角と6本の脚を見ることができます。写真のトゲナナフシは背中にトゲを持つ褐色のナナフシで、関東以西の本州・四国・九州の沿岸部～低山地に分布し、暗い林縁や林床にいることが多いです。この種は雌だけで産卵を行う単為生殖を行います。

(写真・文章：松本 剛史，2006年10月16日 四国支所構内にて撮影)

(No.146 2006.10.17 掲載)